

教科(科目)	国語(国語総合)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	1 年
使用教科書	高等学校改訂版新編国語総合(第一学習社)			授業形態	必修
副教材	基本級別漢字(浜島書店)				

## 1 科目目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

## 2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
	漢字ノート作成およびその確認(各学期共通)	ノートに書き写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。	2h	課題提出 漢字テスト
4	「一日ですっかり変わってしまうこともある」	筆者が自らの体験をどのように整理し表現しているか考える。	7h	
5	「散髪」	登場人物のやりとりを心理の流れに注目しながら整理する。また言動から心の動きを読み取る。	9h	中間考査
6				
7	古文を読むために1	現代文と古文との違いを認識する。(歴史的仮名遣いとその読み方・古語について)	6h	期末考査
8	「ねずみの婿取り」	古語辞典を利用して古語の意味を知り、それを手がかりに現代語訳する手順を理解する。	4h	課題提出 漢字テスト
9				
	「児のそら寝」	登場人物の心の動きをとらえ、古典を読む楽しさを味わう。	4h	
10	「日本語のこころ」	外国語と日本語の表現の比較を読むことで身近な日本語の表現の特徴、日本人の考え方の特徴に気付く。	10h	中間考査
11				
	訓読に親しむ(一)	漢文を学習する上での基本的な事項を身につける。(返り点・送り仮名・書き下し文・再読文字・助字)	10h	期末考査
12	(二)(三)			
1	「五十歩百歩」	書き下し文、現代語訳を整理したノートをつくる。 孟子の発言のあらすじをつかむ。	6h	課題提出 漢字テスト
2	「羅生門」	場面の変化による段落分けをした上で主人公の行動・心理の変化を追い、全体の構成を把握する。 主人公の心理描写を正しく読み取り、自分なりの感想を持つ。 比喩表現、古典的・現代的表現などに注目し、その効果について考える。	12h	学年末考査
3				

## 3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	言語・文学に関心を持ち、意欲的に参加しているか。/自分の意見や考えを適切に表現しようと努めているか。/筆者や相手の意見を的確に理解しようと努めているか。/課題、発問に対して積極的に取り組んでいるか。	漢字テスト・定期考査 ・授業中の小テスト・課題の提出状況・授業への参加状況などを総合し、100点法で評価する。
思考判断	客観的な読解・冷静な判断ができるか。/他者の意見・判断を参考にして、自らをより高め、よりよい判断ができるようになったか。	
技能表現	筆者の意見や考えを的確に理解し、まとめることができるか。/自分の意見や考えを適切に表現できるか。	
知識理解	新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。	

教科(科目)	国語(国語表現)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	1 年
使用教科書	改訂版国語表現 I (京都書房)			授業形態	必修
副教材					

## 1 科目目標

日本語の表現の歴史や特色についての知識・理解を深める。また、自分が考えたことを、他人にわかるように、文章を作り上げたり話をしたりすることができる力を高める。

## 2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	第 I 章「言葉・表現をひらく」	自己紹介文の型に沿って、自分のことが紹介できるようにする。	3h	課題提出 ・練習プリント ・作文 など 小テスト(4回)	
5	◇漢字の学習 1	きまりに従って、文字の書き分けができ、仮名遣い・送り仮名が正しく書けるようにする。	5h		
6		筆順の原則を理解する。代表的な部首を理解する。音と訓の読み分けを理解する。	6h		
7		第 II 章「書く技法を学ぶ」	文体を統一して文章が書けるようにする。基本的な原稿用紙の書き方を身につける。句読点の原則的な使い方を身につける。記録の文章を書けるようにする。		10h
8	(1学期の続き)	説明の文章を書けるようにする。	8h	課題提出 ・練習プリント ・作文 など 小テスト(4回)	
9	◇漢字の学習 2	熟語構成・四字熟語・類義語・対義語など熟語についての基本を理解する。	6h		
10		第 III 章「伝え合う」	報告文・紹介文を理解し、書けるようにする。		6h
11		手紙文を型に沿って書けるようにする。はがきの書き方を理解する。	4h		
12	◇正しい表現 1	接続詞や副詞などの正しい係り受けを理解する。	4h		
1	第 IV 章「意見をもって述べる」	自分の考えを持ち、それを的確に、説得力を持って述べる技法を学ぶ。多様な価値観の中で自己を確立するための技法を習得する。	8h	課題提出 ・練習プリント ・作文 など 小テスト(2回)	
2	第 V 章「日本語を考える」	日本語の表現の特色、語句や語彙の成立及び言語の役割を理解する。	5h		
3	◇正しい表現 2	敬語の正しい使い方や慣用句の使い方を理解する。	5h		

## 3 評価規準と評価方法

項目	内 容	評価方法
関心・意欲・態度	日本語の表現・文章に興味関心を持ち、意欲的に参加しているか。/自分の意見や考えを適切に表現しようとしているか。/課題・発問に対して積極的に取り組んでいるか。	定期考査は実施せず、 作文・小テスト・練習プリント・提出物の状況や課題の到達度などを総合し、100点法で評価する。
思考判断	客観的な意見や考えを的確に理解し、まとめることができるか。/他者の意見・判断を参考にして、自らをより高めようとしているか。	
技能表現	模範文・例文の内容・意見を的確に理解し、まとめることができるか。/自分の意見や考えを適切に表現できるか。	
知識理解	漢字・語彙・文法・表記・語句などの知識を理解し、身につけているか。	

教科(科目)	国語(国語総合)	単位数	3 単位	学年(学科・コース)	2 年
使用教科書	高等学校改訂版新編国語総合(第一学習社)			授業形態	必修
副教材	基本級別漢字(浜島書店)				

## 1 科目目標

国語に関する基礎的・基本的な学力の定着を図る。国語を的確に理解し表現する力を育成する。言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。思考力を伸ばし心情を豊かにするとともに、国語を尊重し、その向上を図る態度を育成する。

## 2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
	漢字ノート作成およびその確認(各学期共通)	ノートに書き写すことで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。	2h	課題提出 漢字テスト
4	「身近な動植物の名前を覚えよう」	「自然」と「人」との関係について考えることを通して、自己を見つめ直す。	13h	中間 考 査
5	「矛盾」	漢文の基本的な事項を確認する。(返り点・書き下し文など)	6h	
6	「かぐや姫のおひたち」	話のあらすじをつかみ、現在の意味とのつながりを考える。	15h	
7	「詩の楽しみ」	古語の助動詞の意味を理解し、読解に役立てる。 登場人物の行動・心情を読み取る。	9h	
8	「よだかの星」	詩の言葉にこめられた固有の意味を理解し、味わう。 主題を通して作者の考え方やものの見方について考える。	12h	課題提出 漢字テスト
9		主人公の置かれた状況を整理し、心理と行動の関係を把握する。 情景描写に表される心理を読みとる。		中間 考 査
10	「短歌の世界」	短歌の修辞について理解し、鑑賞方法を学ぶとともに優れた表現を味わう。	12h	
11	「漢詩の世界」	漢詩の基礎知識や決まりを理解する。 詩人の心情を読みとり、当時の自然観・人生観について考える。	10h	
12	「体験を書く」	修学旅行において体験したことを書く。	8h	期末 考 査 課題提出
1	「漢詩の世界」	2学期の継続	6h	課題提出 漢字テスト
2	「筒井筒」	登場人物の境遇を考え、心情を読みとる。	12h	学 年 末 考 査
3		和歌の修辞法や効果について学び、和歌に込められた心情を味わう。		

## 3 評価規準と評価方法

項目	内 容	評価方法
関心・意欲・態度	言語・文学に関心を持ち、意欲的に参加しているか。/自分の意見や考えを適切に表現しようと努めているか。/筆者や相手の意見を的確に理解しようと努めているか。/課題、発問に対して積極的に取り組んでいるか。	漢字テスト・定期 考 査 ・授業中の小 テ ス ト ・課 題 の 提 出 状 況 ・授 業 へ の 参 加 状 況 な ど を 総 合 し 、 1 0 0 点 法 で 評 価 す る。
思考判断	客観的な読解・冷静な判断ができるか。/他者の意見・判断を参考にして、自らをより高め、よりよい判断ができるようになったか。	
技能表現	筆者の意見や考えを的確に理解し、まとめることができるか。/自分の意見や考えを適切に表現できるか。	
知識理解	新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。	

教科(科目)	国語(現代文)	単位数	4 単位	学年(学科・コース)	3 年
使用教科書	高等学校改訂版新編現代文(第一学習社)			授業形態	必修
副教材	基本級別漢字(浜島書店)				

## 1 科目目標

近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる。

## 2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	漢字ノート作成およびその確認(各学期共通)	ノートに書き写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増やす。	2h	課題提出 漢字テスト
	「自分を知ることがいちばんおもしろい」	筆者の考える「自分を知る」ことについて理解する。 「自分」という存在について考え、自己の内面をみつめるきっかけとする。	8h	
	「他人の夏」	登場人物の心理の変化を、行動・表情の細かい描写や会話文などに即して把握する。	12h	
	「我らが内なる『虫』」	「虫」に関わる慣用句の意味をとらえる。 筆者の考察を理解し、筆者の提起する現代の問題を読み取る。	14h	
5	「汚れつちまつた悲しみに……」他	詩の基本的な形式や比喩の使われ方について理解する。 作品の主題について考える。	10h	中間考査
8	「ナイン」	登場人物の言動から心の動きを読み取り、各登場人物の関係性を理解する。	14h	課題提出 漢字テスト
9	「ステレオタイプの危険性」	具体例を参考にしながら、抽象的な論理を的確に理解する。 現代社会における「自分」と「他者」の関わりについて考える。	12h	中間考査
10	「山月記」	すぐれた短編小説の持つ、たくみな構成を理解し、小説を読む楽しさを感じ取る。 主人公の心の葛藤や生き方について考える。	22h	期末考査
11	「そこが空っぽになる」	「共生」というキーワードを理解する。 一人の作家の生き方から、自分なりの生き方について考える。	12h	課題提出 漢字テスト
12				学年末考査

## 3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	言語・文学への関心を高め、意欲的に参加しているか。/自分の意見や考えを適切に表現しようと努めているか。/筆者や相手の意見を的確に理解しようと努めているか。/課題、発問に対して積極的に取り組んでいるか。	漢字テスト・定期考査 授業中の小テスト・課題の提出状況・授業への参加状況などを総合し、100点法で評価する。
思考判断	客観的な読解・冷静な判断ができるか。/他者の意見・判断を参考にして、自らをより高め、よりよい判断ができるようになったか。	
技能表現	筆者の意見や考えを的確に理解し、論理的にまとめることができるか。/自分の意見や考えを適切に表現できるか。	
知識理解	新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。	